

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成21年度技術情報第6号(野菜, 花きのオオタバコガ) について (送付)

野菜, 花きのオオタバコガについて情報をとりまとめましたので送付します。

南薩地域のオクラを中心に, オオタバコガが早い時期から多く発生していますので, 初期防除に努めてください。

1 農作物名 オクラ, スイカ, キク等

2 病害虫名 オオタバコガ

3 予報内容

(1) 発生地域 県本土

(2) 発生量 やや多

(3) 発生時期 早 い

4 情報の根拠

(1) 6月中旬の巡回調査では, 発生ほ場率がオクラで50% (平年13%), スイカで6% (平年0%)と平年よりも高く, オクラでは発生程度の高いほ場も認められた。

(2) キクでも一部地域で発生を確認している (地域振興局)。

(3) フェロモントラップへの誘殺数も, 南九州市頰娃町では5月上中旬, 霧島市では5月中旬以降多い。また, さつま町でも6月に誘殺を認めた。

5 防除上注意すべき事項

(1) 中・老齢幼虫は薬剤に対する抵抗力が強いので, 若齢幼虫期に防除する。

(2) 幼虫は主に花の中や果実に生息するので, 薬剤は植物体の上部を中心に散布する。

(3) オクラでの防除は花が開いている午前中に行なうと効果的である。

(4) 薬剤により殺虫効果が異なるので, 薬剤感受性試験結果 (参考資料) を参考にする。

(5) 収穫や管理作業時に発見した幼虫はその都度捕殺し, 被害果実や蕾等も除去する。

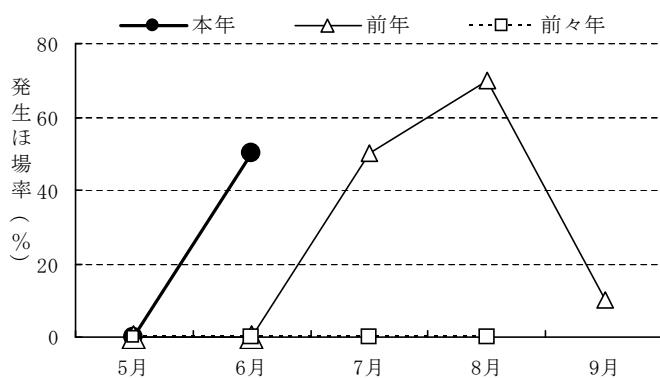


図1 オオタバコガの発生推移 (オクラ)



オクラの花を食害する幼虫

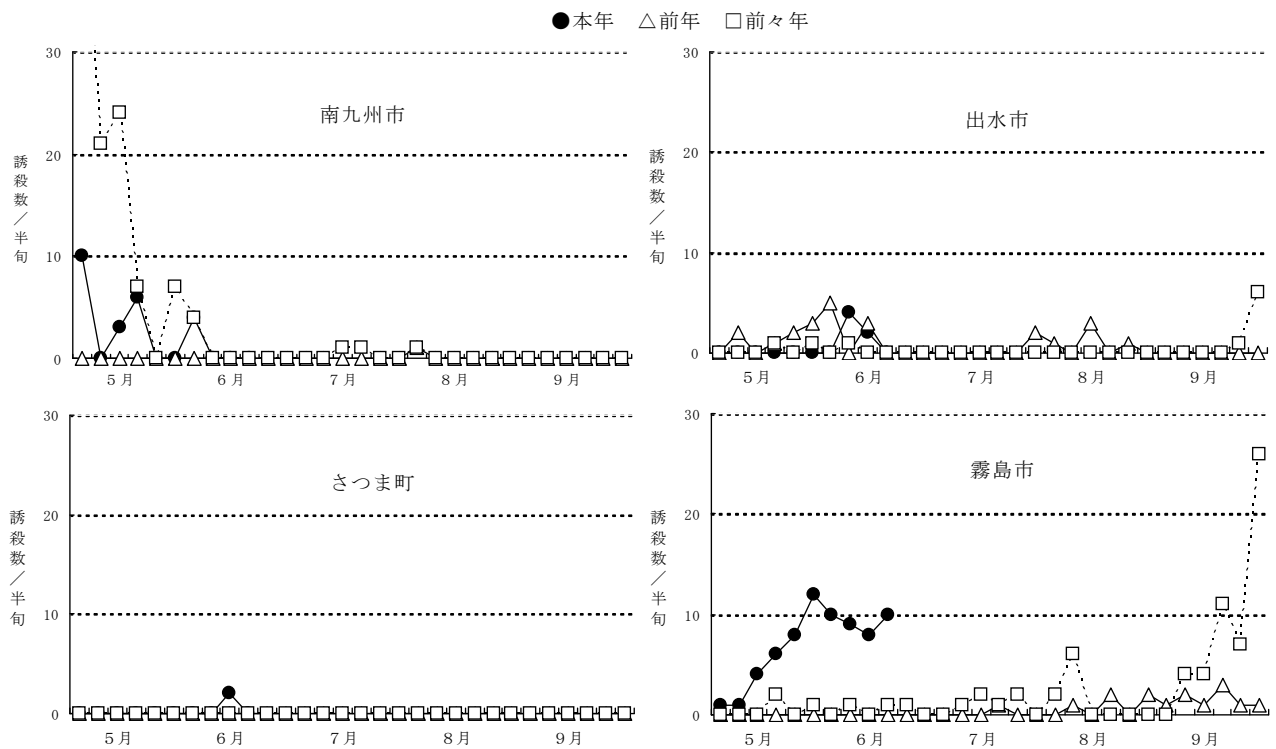


図2 フェロモントラップによるオオタバコガの誘殺消長

(参考資料)

オオタバコガの薬剤感受性試験結果

2008年9月20日に指宿市新西方のオクラから採集し、飼育1世代幼虫を10月16～19日に検定

表1 オオタバコガ1～2齢幼虫に対する各種薬剤の殺虫効果

供試薬剤	系統名	希釈 倍数	補正死亡率 (%)			食害面積率 <sup>注)</sup>		
			24時間後	48時間後	72時間後	24時間後	48時間後	72時間後
アタブロン乳剤		2,000	26.1	61.7	92.3	+	++	+++
マトリックフロアブル	I GR剤	2,000	3.9	12.0	54.1	+	++	+++
ファルコンフロアブル		2,000	0	50.0	85.7	+	+	+
アディオオン乳剤	合成ピレス ロイド剤	2,000	42.9	52.0	52.0	+	++	+++
トレボン乳剤		1,000	28.4	46.4	46.4	+	++	+++
ラービフロアブル	カーバメー ト剤	1,000	100	100	100	±		
ガードジェット水和剤		1,000	0	10.1	10.1	+	++	+++
ゼンターリ顆粒水和剤	B T剤	1,000	7.3	92.6	92.6	±	+	+
デルフィン顆粒水和剤		1,000	18.0	100	100	±	±	
アフーム乳剤		2,000	100	100	100	±		
コテツフロアブル		2,000	80.8	84.1	88.1	+	+	+
スピノエース顆粒水和剤	その他	5,000	100	100	100	-		
トルネードフロアブル	新規系統剤	2,000	0.4	84.1	88.1	+	+	+
フェニックス顆粒水和剤		2,000	100	100	100	-		
プレオフロアブル		1,000	92.9	100	100	±	±	
無処理			-	-	-	+	++	+++

注) 食害面積率 - : 食害なし, ± : 1%以下, + : 1~10%, ++ : 10~25%, +++ : 25%以上